

「グローバル経済」シラバス

学科	商業科	学年	3 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	グローバル経済 (実教出版株式会社)								
副教材等	グローバル経済 準拠問題集 (実教出版)								

1 学習の到達目標

- (1) 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。
- (2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、鑑別評価と 100 点法で評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

①知識・理解・技能	企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けているか。	(1)(3)(6)(7)(8)(9)
②思考・判断・表現	経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えているか。	(1)(2)(4)(5)(7)(8)
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしているか。	(2)(3)(4)(5)(6)(7)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)板書の整理状況(2)動画視聴記録票(3)質問に対する応答	
自己評価シート	(4)学期に 1 回提出	
課題レポート	(5)学期始めに提出	
ノート提出	(6)各考査ごとに提出(7)章末問題の解答提出	
ペーパーテスト	(8)定期考査(9)単元テスト	

※ 表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

3 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	評価項目
一学期	第1章 グローバル化が進展する社会	・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深める。	(8)(6)
	1 国境を超えて広がる世界	・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考える。	
	2 グローバル化する社会	・地域経済統合の意義について学ぶ。	
	3 グローバル化と地域経済統合の動き	・グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討する。	
	4 グローバル化と経済発展	・多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について考える。	
	5 グローバル化の諸問題	・企業が海外進出するにあたっての方法や難しさなどを学ぶ。	
二期	第2章 経営のグローバル化	・マザー工場システムや海外拠点の役割について理解し、グローバル化の問題点について学ぶ。	(8)(6)(4)
	1 多国籍企業とグローバル経営	・グローバル経営における課題を把握し、対応策について考える。	
	2 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ	・グローバル経営を進めるにあたって求められる企業の社会的責任について理解する。	
二期	3 グローバル経営の現状	・経済のグローバル化における人材（ヒト）の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて理解する。	(5)
	4 グローバル経営の課題	・自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財（モノ）のやり取りに関して、二国間協定や地域経済統合の意義を学ぶ。	
	5 グローバル化に伴う企業の社会的責任	・金融の役割や形態、金融商品、金融機関等について学び、日本における金融の現状と外国為替に関する知識を学び、金融（カネ）のグローバル化について理解する。	
	第3章 経済のグローバル化	・情報通信技術の発達と個人情報の在り方についての視点から、情報のグローバル化について理解する。	
	1 人材のグローバル化	・需要と供給に着目した市場に関する理論について理解し、現実の社会における市場の役割と課題について学ぶ。	
	2 財とサービスのグローバル化		
三期	3 金融のグローバル化		(8)(6)
	4 情報のグローバル化		
	第4章 市場と経済		
三期	1 需要と供給による市場の理論		(8)(6)(4)
	2 経済成長	・GDPについて理解し、マクロ的な視点から経済成長について学ぶ。	
	3 景気循環とインフレーション	・景気循環のしくみについて理解し、その弊害について考察する。	
三期	4 経済政策	・経済政策における政府の役割について学び、現状と問題点について理解する。	(6)(4)

備考 (1)(2)(3)(7)(9)については、全ての単元において評価項目として用いる。